

# Economic Indicators

発表日: 2023年12月8日(金)

## 主要経済指標予定(2023年12月11日~12月15日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(12月11日~12月15日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
12月11日 (月)	8:50 11月マネーストック				
	M2(前年比)	+2.3%	+2.3%	+2.2%~+2.5%	+2.4%
	M3(前年比)	+1.8%	+1.7%	+1.7%~+1.9%	+1.8%
	広義流動性(前年比)	+2.0%	+2.0%	+1.6%~+2.0%	+2.0%
12月12日 (火)	8:50 10-12月期法人企業景気予測調査 景況判断BSI大企業製造業	—	—	—	+5.4
	全産業	—	—	—	+5.8
	8:50 11月企業物価指数 (前月比)	+0.1%	—	—	▲0.4%
	(前年比)	0.0%	+0.1%	▲0.2%~+0.7%	+0.8%
12月13日 (水)	8:50 12月日銀短観 業況判断DI・大企業製造業(最近)	10	10	7~12	9
	(先行き)	12	9	6~13	10
	大企業非製造業(最近)	30	27	24~28	27
	(先行き)	28	25	21~27	21
12月14日 (木)	8:50 11月短観業種別計数及び調査全容				
	8:50 10月機械受注統計 船電除く民需(前月比)	▲0.6%	▲0.4%	▲4.0%~+3.4%	+1.4%
	(前年比)	▲4.3%	—	—	▲2.2%
	13:30 10月鉱工業指数・確報 鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+1.0%
(前年比)	—	—	—	+0.9%	
12月15日 (金)	13:30 10月商業動態統計・確報 小売業販売額(前年比)	—	—	—	+4.2%
	13:30 10月第3次産業活動指数 (前月比)	▲0.8%	—	—	▲1.0%
	(前年比)	+1.2%	—	—	+2.1%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



**日銀短観 12 月調査 業況判断 D I ・大企業製造業（最近） 当社予想：10 中央値：10**

マイナス金利解除が近々実施されるのであれば、短観の業況 DI の変化が重視されるはずだ。予想は、大企業・製造業も非製造業も改善が続くというものだ。気になるのは、国内需給がそれほど強くはなく、海外需給も米金融引き締めで悪化しそうな点である。

（首席エコノミスト：熊野 英生）

**11 月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比 0.0% 中央値：同+0.1%**

11 月の国内企業物価を前年比 0.0%、前月比+0.1%と予想する。前年の非常に高い伸びの裏が出ることで企業物価は前年比鈍化が続いているが、11 月もこの動きが継続し、電気・ガス・水道のマイナス寄与拡大を中心に前年比横ばい程度まで鈍化するだろう。12 月以降は前年比マイナスでの推移が続こう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

**10 月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比▲0.6% 中央値：同▲0.4%**

10 月の機械受注（船舶電力除く民需）は前月比▲0.6%と予想する。国内外の財需要の低迷から企業の慎重姿勢が継続し、製造業は 9 月の落ち込みを取り戻すに至らず、機械受注全体も弱い動きが継続したとみられる。当面も一進一退の動きが続くだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

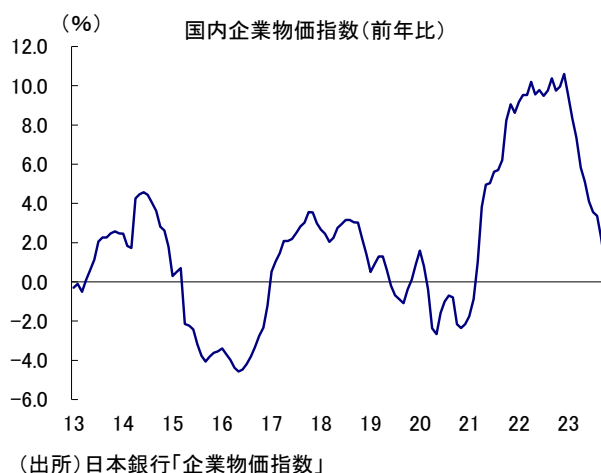
図表1

(図表1) 日銀短観の予測値(2023年12月調査)

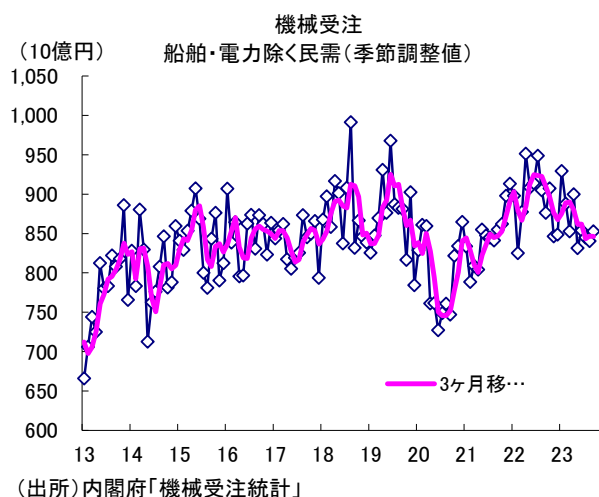
		業況判断DI				
		大企業		中小企業		
		製造業	非製造業	製造業	非製造業	
2021年	3月調査	5	▲1	▲13	▲11	
	6月調査	14	1	▲7	▲9	
	9月調査	18	2	▲3	▲10	
	12月調査	18	9	▲1	▲4	
2022年	3月調査	14	9	▲4	▲6	
	6月調査	9	13	▲4	▲1	
	9月調査	8	14	▲4	2	
	12月調査	7	19	▲2	6	
2023年	3月調査	1	20	▲6	8	
	6月調査	5	23	▲5	11	
	9月調査	9	27	▲5	12	
	12月調査	10	30	▲3	14	予測値
	先行き	12	28	0	11	予測値

出所:実績は日本銀行 予測値は第一生命経済研究所。

図表2



図表3



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。